科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	日本語アカデミック・プレゼンテーションII Japanese Academic Presentation Skills II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 澤西　稔子		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	金4	配当学年	１回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

第I期に続いて、日本語でのアカデミック・プレゼンテーション及びディスカッションが確実に行えるようになることが目的である。そのために、①自然で聞きやすい日本語の発音・アクセント・イントネーションの習得、②ディスカッションへの参加態度・話し方、③異なる立場の相手を説得するための言語運用力、問題の分析力、論理的思考力を養う。ディスカッションは、個人の発表の延長上にある。第I期で養った口頭発表能力を土台に、より多くの人に自分の意見を伝える力を身に付ける。

[到達目標]

・ディスカッションでは、論点を的確にとらえ、異なる立場の見解を予測しながら自分の意見を日本語で論理的に述べるスキルを習得する。
・自分の意見を整理・構成し、相手を説得する論理性および言語運用能力を身に付ける。
・自然で聞きやすい日本語の音声を身に付ける。
・多様な意見を聞き、賛同や反対が表明できるようになる。また、自分の意見に対する反論に答えられるようになる。

[授業計画と内容]

第II期では、まず、ディスカッションなど討論に必要な日本語表現、語彙などの基本事項を学び、討論で望ましい態度や発言の仕方を身に付けたうえで、グループディスカッションを行う。こちらから準備したテーマについて自分たちで論点を分析し、論理的な意見を構築する練習をする。その上で次の3つのパターンいずれかに基づいて議論する：①二者択一型（賛成・反対）②問題解決型③展開予測型。複数の参加者がいる討論の場では、より正確な発音、アクセント、イントネーションが求められる。そのため、随時、音声面の指導を行いながら進める。また、後半では各自の修了論文に基づいた最終発表をおこなう。
第１週：最終発表の説明／第２～３週：ディスカッションの基本事項／第４～６週：ディスカッション／第７週：フィードバック／第８～11週：最終発表／第12～13週：フィードバック／第14週：即興スピーチ／第15週：授業総括

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目

・欠席をしないこと。グループ分けやセクション担当者などは全て授業中に決めるので、欠席すると自分に不利になるとともに、グループのメンバーに迷惑をかけることになる。やむを得ない場合は、必ず事前に講師まで連絡をすること。
・テーマに関する事前の調査、分析を怠らないこと。また、討論への積極的・協力的な態度を持つこと。
・ディスカッションの後はフィードバックを行うが、改善すべき点を指摘されたら必ず次回に活かすこと。

日本語アカデミック・プレゼンテーションII(2)へ続く↓↓↓

日本語アカデミック・プレゼンテーションII(2)

[成績評価の方法・観点]

出席・授業態度30%、ディスカッション貢献度30%、最終発表30%、提出課題10%　の割合で評価する。ディスカッションは単に日本語能力だけで判定せず、複数の領域（態度・音声・内容・論理性・言語表現）を総合して評価する。また、事前に学生自身が積極的に調査・分析して取り組んでいるかを重視する。

[教科書]

授業中に指示する
授業中にハンドアウトを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

討論のテーマは主として日本の社会問題である。普段からニュースなどに多く触れ、専門用語の発音やアクセント、日本語表現に慣れておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]